

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 2年 6月 29日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地	
株式会社 デンソー	
氏 名 取締役社長 有馬 浩二	
株式会社 デンソー幸田幸田製作所	
代理人 所長 前岩 修	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0564(56)7725	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 デンソー幸田製作所
事業場の所在地	愛知県額田郡幸田町大字芦谷字丸山5
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	29 電気機械器具製造業
② 事業の規模	19年度 「製造品出荷額」：469、962百万円
③ 従業員数	3,987人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

幸田製作所： 事業場総括環境管理者（担当役員）

所長(事業場副総括環境管理者)【産業廃棄物処理責任者(総括責任者)】

幸田安全衛生環境： 課長(環境企画管理者)

課長**【特別管理産業廃棄物管理責任者】**

デンソーファシリティーズ： **担当者【産業廃棄物処理施設技術管理者】**

製造部等： 部長(環境管理者)、室長・工場長（副環境管理者）、
課長(環境責任者)、係長(副環境責任者)、班長(環境推進者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) ゼロエミッション活動を継続し、レベルを維持するとともに、発生量の低減や再生利用の促進に向けて取組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物管理、発生抑制に役立てるため、計量システムを活用する。 ・ 製品づくりの各段階で、廃棄物を出さない仕組みについて検討を進め、排出抑制に努める。 例) 製品設計： 材質変更、製品形状の工夫 工程設計： 加工方法の変更、加工条件の最適化 生産段階： 不良品の低減、ムダの排除 など		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別は、リサイクル業者等と検討・調整の上、適正に決定すると共に、分類表等により事業所内へ周知展開している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別促進により排出抑制可能なものは、分類毎に分別回収しており、今後も維持・継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥や廃プラスチック類は、主に中間処理により減量化（委託中間処理残渣の再生利用）を行っており、本年度はこれを維持する。 [中間処理による減量も再生利用の一環と考えると再生利用率は、100%]		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ゼロエミッションの維持とともに、リサイクルの「質」の向上（マテリアルリサイクル化等）に努める。 例）再資源化施設（粉砕～熔融成形）を有する業者への処理委託、等		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9878.0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥は、自己中間処理と委託中間処理により減量化を行っており、又廃プラスチック類は、委託中間処理により減量化を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	9878.0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・ゼロエミッションの維持とともに、汚泥の自己中間処理能力の向上について検討推進する。又廃プラスチック類は、委託中間処理による減量化を継続し、維持する。 例）脱水能力の向上（含水率の低減）等		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

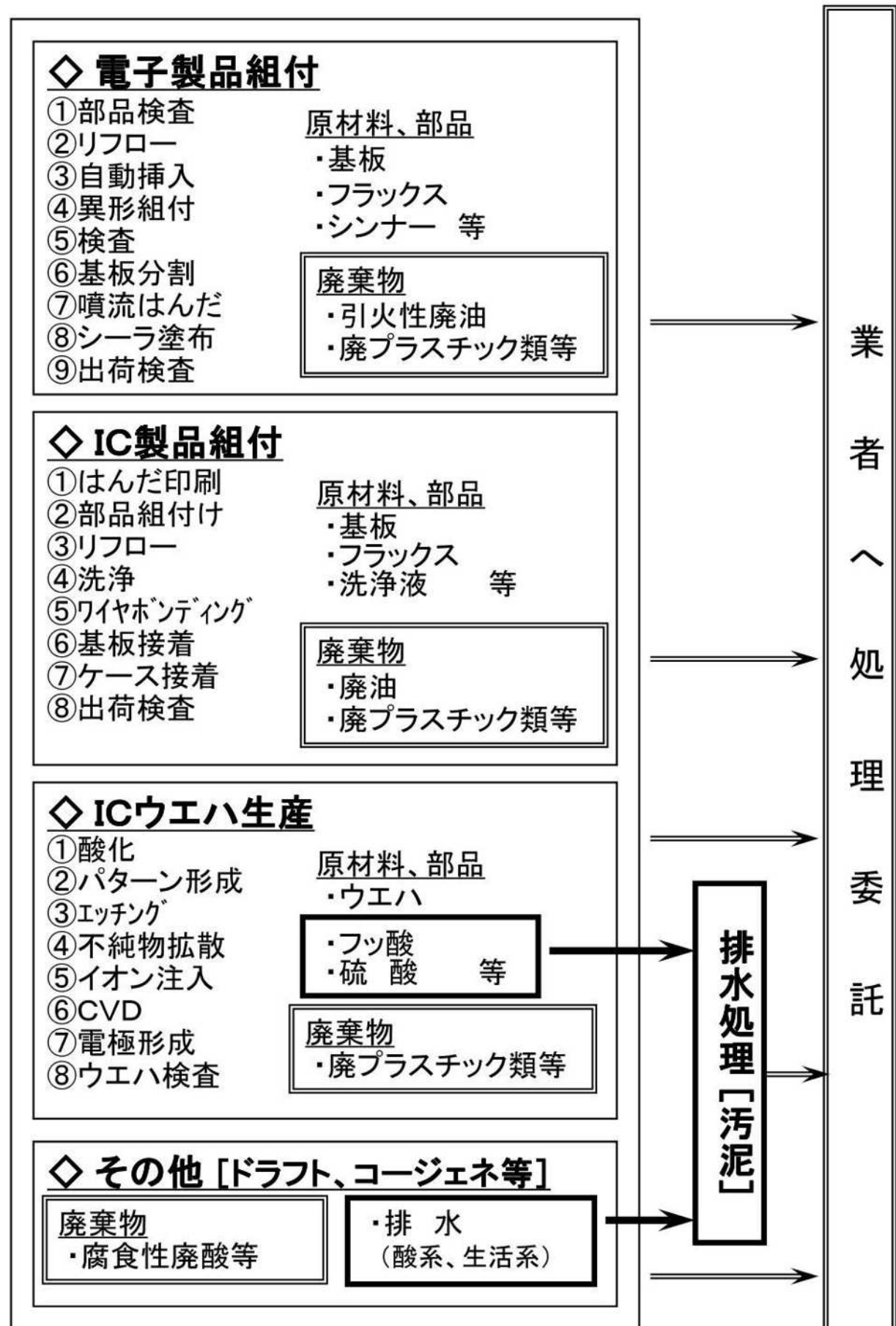
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	- 新規に委託を行う際は、契約前に現地確認を行い、委託内容に見合った適正な料金で、収集運搬業者、処分業者、それぞれと委託契約を行う。 - 処理業者の許可証や処理能力の確認を確実に行う。 - 委託先には、性状等を予め通知する。 - 委託先の現地確認を年1回以上行い、適正に処理されていることを確認、記録するとともに、当該記録を5年間保存する。 - マニフェストの管理を適正に行う。		

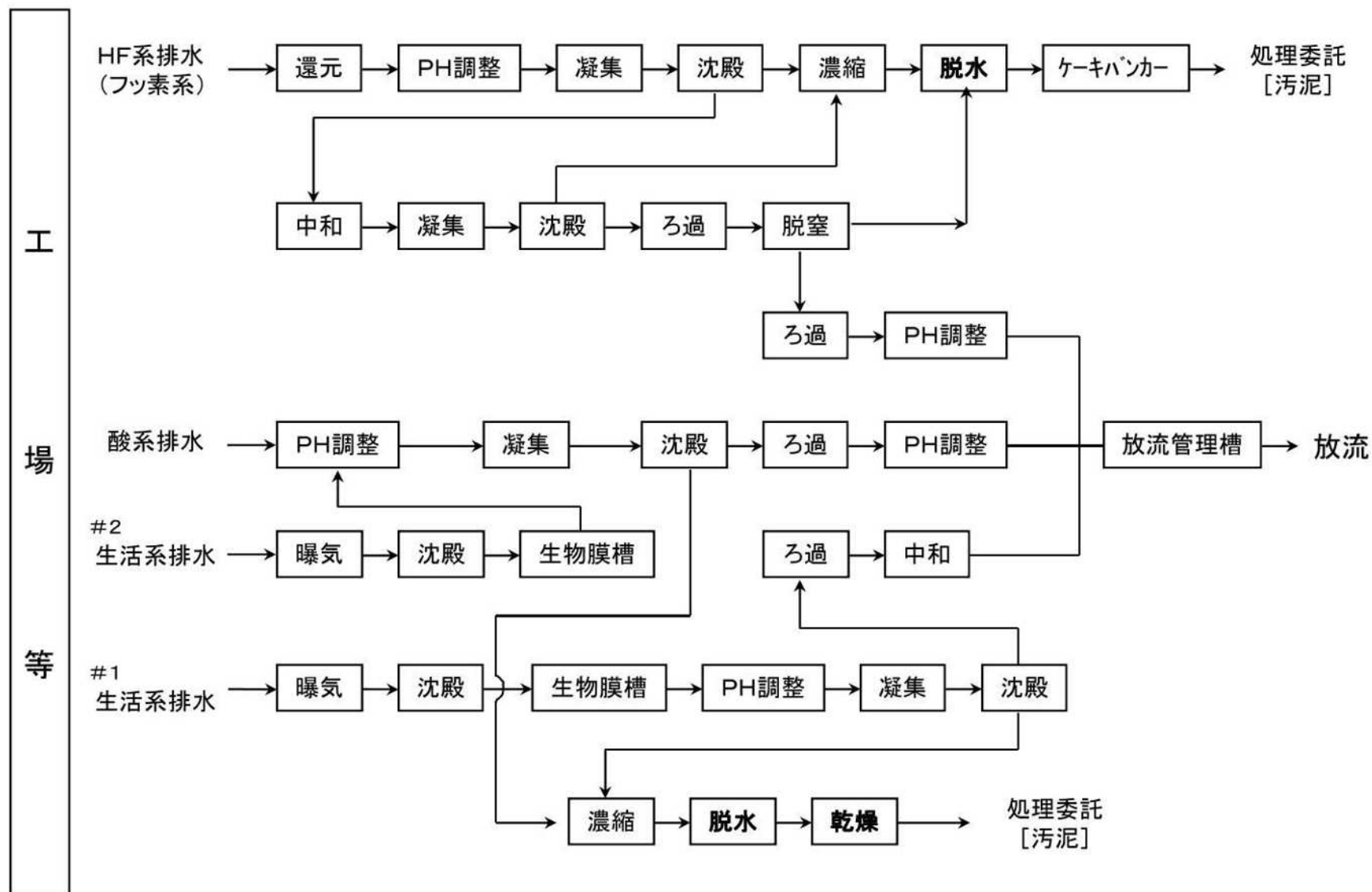
(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取り組みを維持、継続する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)発生工程フローシート



排水処理工程フロー図(概要)



【前年度(令和元年度)実績】

単位:t								
産業廃棄物の種類	汚 泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	木屑
排出量	11073.0	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2

【令和2年度の目標】

単位:t								
産業廃棄物の種類	汚 泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	木屑
排出量	11073.0	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2

産業廃棄物処理計画書の別紙

【前年度(令和元年度)実績】

単位:t

産業廃棄物の種類	汚 泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス及び 陶磁器くず	木屑
全処理委託量	1194.9	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2
優良認定処理業者 への処理委託量	1178.4	105.0	0	0	90.0	1.8	3.3	0
再生利用業者への 処理委託量	1194.9	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2
認定熱回収業者へ の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物処理計画書の別紙

【令和2年度の目標】

単位:t

産業廃棄物の種類	汚 泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス及び 陶磁器くず	木屑
全処理委託量	1194.9	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2
優良認定処理業者 への処理委託量	1178.4	105.0	0	0	90.0	1.8	3.3	0
再生利用業者への 処理委託量	1194.9	157.0	0	0	640.4	34.3	3.8	5.2
認定熱回収業者へ の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0